

第7章 図画工作

1 小学校図画工作科の内容のまとめ

小学校図画工作科における内容のまとめは、以下のようになっている。

〔第1学年及び第2学年〕

造形遊び・・・・・・・・「A表現」(1)ア, (2)ア, 〔共通事項〕(1)ア, イ
 絵や立体, 工作・・・・・・・・「A表現」(1)イ, (2)イ, 〔共通事項〕(1)ア, イ
 鑑賞・・・・・・・・「B鑑賞」(1)ア, 〔共通事項〕(1)ア, イ

〔第3学年及び第4学年〕

造形遊び・・・・・・・・「A表現」(1)ア, (2)ア, 〔共通事項〕(1)ア, イ
 絵や立体, 工作・・・・・・・・「A表現」(1)イ, (2)イ, 〔共通事項〕(1)ア, イ
 鑑賞・・・・・・・・「B鑑賞」(1)ア, 〔共通事項〕(1)ア, イ

〔第5学年及び第6学年〕

造形遊び・・・・・・・・「A表現」(1)ア, (2)ア, 〔共通事項〕(1)ア, イ
 絵や立体, 工作・・・・・・・・「A表現」(1)イ, (2)イ, 〔共通事項〕(1)ア, イ
 鑑賞・・・・・・・・「B鑑賞」(1)ア, 〔共通事項〕(1)ア, イ

2 小学校図画工作科における「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順

ここでは、第1学年及び第2学年の「造形遊び」、第3学年及び第4学年の「絵や立体、工作」、第5学年及び第6学年の「鑑賞」を取り上げて、「内容のまとめりごとの評価規準」作成の手順を説明する。

まず、学習指導要領に示された教科及び学年の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを理解する。その上で、①及び②の手順を踏む。

<例1 第1学年及び第2学年の「造形遊び」>

【小学校学習指導要領 第2章 第7節 図画工作「第1 目標」】

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

(小学校学習指導要領 P. 129)

【改善等通知 別紙4 図画工作・美術（1）評価の観点及びその趣旨 <小学校 図画工作>】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 - 材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりしている。	つくりだす喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 16)

【小学校学習指導要領 第2章 第7節 図画工作「第2 各学年の目標及び内容」

【第1学年及び第2学年】 1 目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。

(小学校学習指導要領 P. 129)

【改善等通知 別紙4 図画工作・美術（2）学年別の評価の観点の趣旨

＜小学校 図画工作＞第1学年及び第2学年】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付いている。 - 手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。	形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。	つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

(改善等通知 別紙4 P. 16)

① 各教科における「内容のまとまり」と「評価の観点」との関係を確認する。

「A表現」

(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 造形遊びをする活動を通して、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えること。

「A表現」

(2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付くこと。

イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。

（下線） …知識に関する内容

（二重下線） …技能に関する内容

（波線） …思考力、判断力、表現力等に関する内容

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

（１）「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

○「知識・技能」のポイント

「知識」について

- ・「知識」は，〔共通事項〕(1)アから作成する。
- ・文末は，学習の状況を評価することを踏まえて「～している」とする。

「技能」について

- ・「技能」は，「A表現」(2)アから作成する。
- ・文頭の「造形遊びをする活動を通して，」は，内容のまとまりを示すものなので削除する。
- ・文末は，学習の状況を評価することを踏まえて「～している」とする。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は，「A表現」(1)ア，〔共通事項〕(1)イから作成する。〔共通事項〕(1)イに続けて「A表現」(1)アを示し，「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら，」とする。
- ・「A表現」(1)アの文頭の「造形遊びをする活動を通して，」は，内容のまとまりを示すものなので削除する。
- ・「A表現」(1)アの「造形的な活動を思い付くことや，」を「造形的な活動を思い付き，」とする。
- ・文末は，学習の状況を評価することを踏まえて「～している」とする。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は，当該学年の「観点の趣旨」を踏まえて作成する。
- ・「表現したり鑑賞したりする学習活動」を「表現する学習活動」とする。

（２）学習指導要領の「２ 内容」及び「内容のまとまりごとの評価規準（例）」

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
学習指導要領 2 内容	〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して，形や色などに気付くこと。	「A表現」 (1) 表現の活動を通して，発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して，身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付くことや，感覚や気持ちを生かしな	※内容には，学びに向かう力，人間性等について示されていないことから，該当学年の目標(3)を参考にする。
	「A表現」 (2) 表現の活動を通して，技		

	能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 造形遊びをする活動を通して、身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくること。	がら、どのように活動するかについて考えること。 〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 形や色などを基に、自分のイメージをもつこと。	
--	---	---	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規 準 例	・自分の感覚や行為を通して、形や色などに気付いている。 ・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、身近な自然物や人工の材料の形や色などを基に造形的な活動を思い付き、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するかについて考えている。	つくりだす喜びを味わい楽しく表現する学習活動に取り組もうとしている。 ※学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

<例 2 第 3 学年及び第 4 学年の「絵や立体，工作」>

【小学校学習指導要領 第 2 章 第 7 節 図画工作「第 1 目標」】及び【改善等通知 別紙 4 図画工作・美術（1）評価の観点及びその趣旨 <小学校 図画工作>】

<例 1 と同様>

【小学校学習指導要領 第 2 章 第 7 節 図画工作「第 2 各学年の目標及び内容」

【第 3 学年及び第 4 学年】 1 目標】

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに，手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い，表し方などを工夫して，創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的なよさや面白さ，表したいこと，表し方などについて考え，豊かに発想や構想をしたり，身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み，つくりだす喜びを味わうとともに，形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

（小学校学習指導要領 P. 130）

【改善等通知 別紙 4 図画工作・美術（2）学年別の評価の観点の趣旨

<小学校 図画工作>第 3 学年及び第 4 学年】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かっている。 - 手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い，表し方などを工夫して，創造的につくったり表したりしている。	形や色などの感じを基に，自分のイメージをもちながら，造形的なよさや面白さ，表したいこと，表し方などについて考えるとともに，豊かに発想や構想をしたり，身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。	つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

（改善等通知 別紙 4 P. 16）

① 各教科における「内容のまとまり」と「評価の観点」との関係を確認する。

「A表現」

- (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付けることや，表したいことや用途などを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えること。

「A表現」

- (2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，材料や用具を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつこと。

（下線） …知識に関する内容

（二重下線） …技能に関する内容

（波線） …思考力，判断力，表現力等に関する内容

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

（１）「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

○「知識・技能」のポイント

「知識」について

- ・「知識」は〔共通事項〕(1)アから作成する。
- ・文末は、学習の状況の評価することを踏まえて「～している」とする。

「技能」について

- ・「技能」は、「A表現」(2)イから作成する。
- ・文頭の「絵や立体，工作に表す活動を通して，」は，内容のまとまりを示すものなので削除する。
- ・文末は，学習の状況の評価することを踏まえて「～している」とする。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は，「A表現」(1)イ，〔共通事項〕(1)イから作成する。〔共通事項〕(1)イに続けて「A表現」(1)イを示し，「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら，」とする。
- ・「A表現」(1)イの文頭の「絵や立体，工作に表す活動を通して，」は，内容のまとまりを示すものなので削除する。
- ・「A表現」(1)イの「表したいことを見付けることや，」を「表したいことを見付け，」とする。
- ・文末は，学習の状況の評価することを踏まえて「～している」とする。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は，当該学年の「観点の趣旨」を踏まえて作成する。
- ・「表現したり鑑賞したりする学習活動」を「表現する学習活動」とする。

（２）学習指導要領の「２ 内容」及び「内容のまとまりごとの評価規準（例）」

	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
学習指導要領 2 内容	〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じが分かること。	「A表現」 (1) 表現の活動を通して，発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付けることや，表したいことや用途などを	※内容には，学びに向かう力，人間性等について示されていないことから，該当学年の目標(3)を参考にする。
	「A表現」 (2) 表現の活動を通して，技		

	能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 絵や立体，工作に表す活動を通して，材料や用具を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。	考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えること。 〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 形や色などの感じを基に，自分のイメージをもつこと。	
--	--	--	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規準例	・自分の感覚や行為を通して，形や色などの感じが分かっている。 ・材料や用具を適切に扱うとともに，前学年までの材料や用具についての経験を生かし，手や体全体を十分に働かせ，表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	形や色などの感じを基に，自分のイメージをもちながら，感じたこと，想像したこと，見たことから，表したいことを見付け，表したいことや用途などを考え，形や色，材料などを生かしながら，どのように表すかについて考えている。	つくりだす喜びを味わい進んで表現する学習活動に取り組もうとしている。 ※学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。

＜例 3 第 5 学年及び第 6 学年の「鑑賞」＞

【小学校学習指導要領 第 2 章 第 7 節 図画工作「第 1 目標」】及び【改善等通知 別紙 4 図画工作・美術（1）評価の観点及びその趣旨 ＜小学校 図画工作＞】

＜例 1 と同様＞

【小学校学習指導要領 第 2 章 第 7 節 図画工作「第 2 各学年の目標及び内容」

【第 5 学年及び第 6 学年】 1 目標】

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

（小学校学習指導要領 P132）

【改善等通知 別紙 4 図画工作・美術（2）学年・分野別の評価の観点の趣旨

＜小学校 図画工作＞第 5 学年及び第 6 学年】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 - 材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。	つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。

（改善等通知 別紙 4 P.17）

① 各教科における「内容のまとめ」と「評価の観点」との関係を確認する。

「B鑑賞」

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。

イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

（下線） …知識に関する内容

（波線） …思考力，判断力，表現力等に関する内容

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する。

(1) 「内容のまとまりごとの評価規準」を作成する際の【観点ごとのポイント】

○「知識・技能」のポイント

- ・鑑賞する活動については「知識・技能」のうち「知識」を評価する。「知識」は〔共通事項〕(1)アから作成する。
- ・文末は、学習の状況を評価することを踏まえて「～している」とする。

○「思考・判断・表現」のポイント

- ・「思考・判断・表現」は、「B鑑賞」(1)ア,〔共通事項〕(1)イから作成する。〔共通事項〕(1)イに続けて「B鑑賞」(1)アを示し、「自分のイメージをもつ。」を「自分のイメージをもちながら,」とする。
- ・B鑑賞(1)アの文頭の「～を鑑賞する活動を通して,」は、内容のまとまりを示すものなので削除する。
- ・文末は、学習の状況を評価することを踏まえて「～している」とする。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ・「主体的に学習に取り組む態度」は、当該学年の「観点の趣旨」を踏まえて作成する。
- ・「表現したり鑑賞したりする学習活動」を「鑑賞する学習活動」とする。

(2) 学習指導要領の「2 内容」及び「内容のまとまりごとの評価規準（例）」

	知識・技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
学習指導要領 2 内容	〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。	「B鑑賞」 (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。	※内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、該当学年の目標(3)を参考にする。

		〔共通事項〕 (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。	
--	--	--	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめりごとの評価規準例	自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解している。	形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めている。	つくりだす喜びを味わい主体的に鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。 ※学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて作成する。